

アヒルの 放送

No. 48
2015.3

■発行者／愛知県幼児視聴覚教育研究会
会長 中島 章裕

■担当／愛幼視研究委員会研究委員

■お問い合わせ／
中村保育園
〒453-0053 名古屋市中村区加藤屋敷3
TEL (052) 482-4020



視聴覚・放送教育いつやるの？



視聴覚機材が保育でも使いやすい時代がやってきました！液晶テレビを始め、各種視聴覚機材が一昔前では考えられないくらいにお値打ち価格でゲットできる時代。タブレットやスマートフォン等、新たなメディアも身近になってきています。

日常の保育に視聴覚教材や放送教育を活かして子どもたちの豊かな心を育むために利用してみてはいかがでしょうか？

Eテレの子ども向け番組の情報がたくさん載っている「キッズワールド」(<http://www.nhk.or.jp/kids/>)には、幼稚園・保育所向け「活用の仕方」のページもあります。幼児教育の五領域に対応したいろいろな番組があります。

手元のタブレットを40インチの液晶テレビにワイヤレスで繋げば、インターネット上にある膨大な映像や画像が保育に活かせます。低年齢向けのアプリもたくさん出ています。「NHK for School」(<http://www.nhk.or.jp/school/>)では、子どもたちに役立つ映像や画像だけではなく、ゲームや教材もたっぷり！一度、覗いてみてください。

*タブレットやスマートフォンをテレビに繋ぐ方法には、有線ならAVコードやHDMIケーブル、無線ならMiracast・Chromecast・Air play等の方式があります。

OHC(書画カメラ)を繋げば、小さな絵本も大型絵本に早変わり！経費節減につながるかも？昆虫や草花を大画面で見れば、「ザリガニってこんな顔していたんだ！ハエって怪獣みたい！」と子どもたちも新たな発見にビックリ。絵に描いてみたら、いつもとは違った感動が絵に表されていました。



タブレット



OHC(書画カメラ)



スマートフォン

Bluetooth対応スピーカー

スマホから
スピーカーに
音を飛ばします！

Bluetooth対応のオーディオ機器やスピーカーがあればスマートフォンも簡単に接続できます。（いちいちCDを入れ替えなくてスマートフォンやオーディオプレーヤーに何百曲も入れておけば便利です！）



お鍋の中は、どうなっているの？（食育活動より）

～見えなかったものが見えることで生まれる感動体験～

年長児の食育活動の一環で、毎月クッキングを行っています。鬼まんじゅう、白玉だんご、カレーライスなど。毎回調理員が1クラスずつ約30人の子どもの前で説明して、ナベで調理する様子を見せながら思うことは、ナベの中身をもっと身近で感じられたら…。そこで調理員と相談を重ね、ナベを透明のものに変えてみました。ナベの横から具材が加熱される様子を「あれっ！？」「すごい！」という顔で食い入るように見つめる子どもたちでした。しかし、30人の子どもにとっては1つのナベとの距離はまだ遠く、もっと近いものにならないかと考えた末に、肉じゃがクッキングの時に食材がナベの中でグツグツしている様子をリアルタイムで写してみました。今までのクッキングでも、ワクワクする子どもの様子は感じていたものの、ナベの中身が映し出され、じゃがいも等が煮込まれていく様子を見て、「うわあ～！」「にんじんが踊ってる！」「色が変わってきたよ！」などと、目にしたものを見次々と、今まで聞いたことのない言葉が子どもたちから飛び出てきました。今まで見えなかったものが見える様になったことで、こんなに感動が生まれるんだ！と実感した瞬間でした。子どもたちにとって今や映像やメディアとの関わりは、水あそびや砂あそびと同じくらい身近なものとなっています。だからこそ、その環境とどうつきあい、よりよい成長に導いていくかについて、幼児期に感動して体験できるような視聴覚教育のあり方を、保育者自身が工夫していく必要があると思います。視聴覚教材や放送教育を活用することで、保育の幅が広がり、そこで培った共通体験を通して心の成長や五感を育てるきっかけになるとよいですね。